

もみ殻燃料活用モニター調査事業(案)について

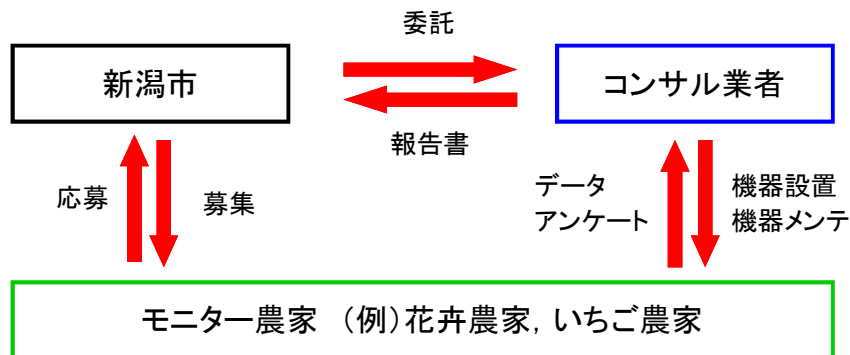
1 目的

もみ殻のビニールハウス暖房用燃料としての利用可能性の検証

2 調査の視点

- ① 燃焼(暖房)機器の実用性に関する検証(機器は日常的に使用できるものか)
- ② 燃料の実用性の検証(燃料の確保, 燃料ハンドリングに問題はないか)
- ③ 焼却灰の利用に関する検証(焼却灰の利用は可能か)

3 事業概要



【募集数】 1～2件

【調査期間】 平成27年11月～平成28年3月(延長も検討)

【費用負担】 機器の設置, 機器メンテナンス, 燃料代は市が負担

【その他】 バックアップ用のボイラーが必要(モニターが用意)

《事業のイメージ》

